

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	キッチントレーラーを活用した農業振興と地域プロモーション
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 信州いいやま観光局 (道の駅「花の駅 千曲川」)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ア 特色ある観光地づくり イ 農業の振興と農山村づくり
総事業費	6,468,360 円 (うち支援金: 4,423,000 円)

事業内容

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①キッチントレーラーの導入による「そば」の提供

今年度はレシピの検討にとどまり、営業はできなかったが、令和6年度中にそばの販売を行う。

②地域内食材の活用や、「雪室」関連商品を取り扱うことで地域の特色を演出する

地域食材の「キノコ」「サツマイモ」のPRを行った。今後そば事業において雪室関連商品の取扱いを開始しPRにつなげる。

③キッチントレーラー機動力を生かした情報発信事業

今年度、飯山市公民館で開催された、飯山市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームが主催する「だれでも食堂」に参加した。福祉イベントに参加し道の駅「花の駅千曲川」の敷地外での道の駅のPRを行うことができた。



【活動風景】

【目標・ねらい】

- ①キッチントレーラーの導入による「そば」の提供
- ②地域内食材の活用や、「雪室」関連商品を取り扱うことで地域の特色を演出する
- ③キッチントレーラー機動力を生かした情報発信事業

事業効果

キッチントレーラーの機動力を活用した道の駅「花の駅千曲川」敷地外でのPRを行い、また地域の農産物を地産地消で活用し、道の駅や地域食材のPRを行う。こけら落としは飯山市孤独・孤立対策官民連携プラットフォームが主催する「だれでも食堂」企画に参加し「信州産三種のきのこ汁」の振る舞いを行うことで道の駅「花の駅千曲川」や信州産キノコをPRすることができた。また、飯山そば振興研究会と連携しそばの連作対策で作付けされた「サツマイモ(紅はるか)」の「つぼ焼き焼き芋」のPRも行った。

今後、道の駅「花の駅千曲川」や敷地外のイベント参加等で活用することで地域プロモーションを行う。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は活動範囲を市外、県外と広げていくことを検討しながら、収益を上げることも重視しキッチントレーラー事業としても成り立つように販売事業やPR事業について内容の精査を行い地域食材や地域観光のPRを行いたい。県外のPRについては飯山市の交流都市をはじめ、各地域に存在する道の駅などとも連携をとって相互にメリットのある活動を行いたい。

※自己評価【B】

【理由】

初年度より、機動力を生かした、地域食材、地域振興作物のPRに寄与できた。今後もイベント参加回数や道の駅での営業など経験を重ね効果的に活用したい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある